

平成12年3月16日

## ディスプレイ事業本部及び電子部材事業本部を新設

旭硝子株式会社

旭硝子株(本社：東京、社長：石津進也)は、4月1日付で従来の管球硝子事業本部及び電子事業本部を再編成し、新たに「ディスプレイ事業本部」及び「電子部材事業本部」を設置します。

当社は、これまでディスプレイ市場に対して、ブラウン管、液晶パネル、PDP(プラズマディスプレイパネル)等の商品に応じ、それぞれ管球硝子事業本部、電子事業本部等が個々に取り組み、製品の開発・製造・販売を行って来ました。しかし、今日当該市場における顧客要求は急速に変化しており、ディスプレイ市場全体を把握した上で、市場の変化に迅速に対応できる体制を構築する必要性が生じています。

そこで、今般当社は、

すべてのディスプレイ商品(ブラウン管、液晶パネル、PDP、その他の新規商品)における顧客対応のスピードアップ及び的確性の向上  
営業活動の効率化

ディスプレイ事業全体の中での経営資源の最適配分及び収益性の向上  
を目指し、現在の管球硝子事業本部と電子事業本部ファイン硝子事業部を統合して「ディスプレイ事業本部」を設置するものです。

また、ディスプレイ用ガラス関連を除く電子関連市場においても、旭硝子グループ全体の視点から電子部材ビジネスを一層加速させるため、「電子部材事業本部」を設置します。この組織改正の狙いは、以下の通りです。

ガラス、セラミックス、液晶、表面処理、光学素子設計等に係る当社グループのコア技術をベースにした高付加価値商品の迅速な提供  
開発・製造・販売を一貫してマネージメントする体制の構築及びその機動的運営  
現在、管球硝子事業本部、電子事業本部並びに関係会社にまたがって事業運営が行われているフリット・ペースト(ブラウン管等各種電子部品の絶縁体に用いられるガラス粉末)事業の一元化

新設する両事業本部の連結概算売上(2000年3月期見込み)は、ディスプレイ事業本部が約1,500億円、電子部材事業本部が約1,100億円です。

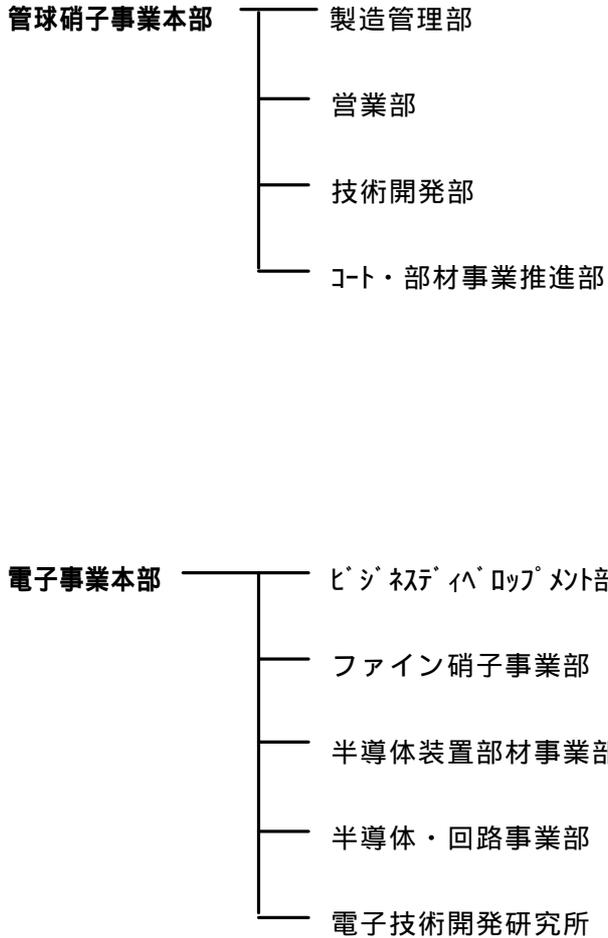
当社は、今回の組織改正を機に、それぞれの事業本部の事業運営及び顧客対応のスピードアップを実現し、業績の拡大及び顧客満足度の向上を図ります。

以上

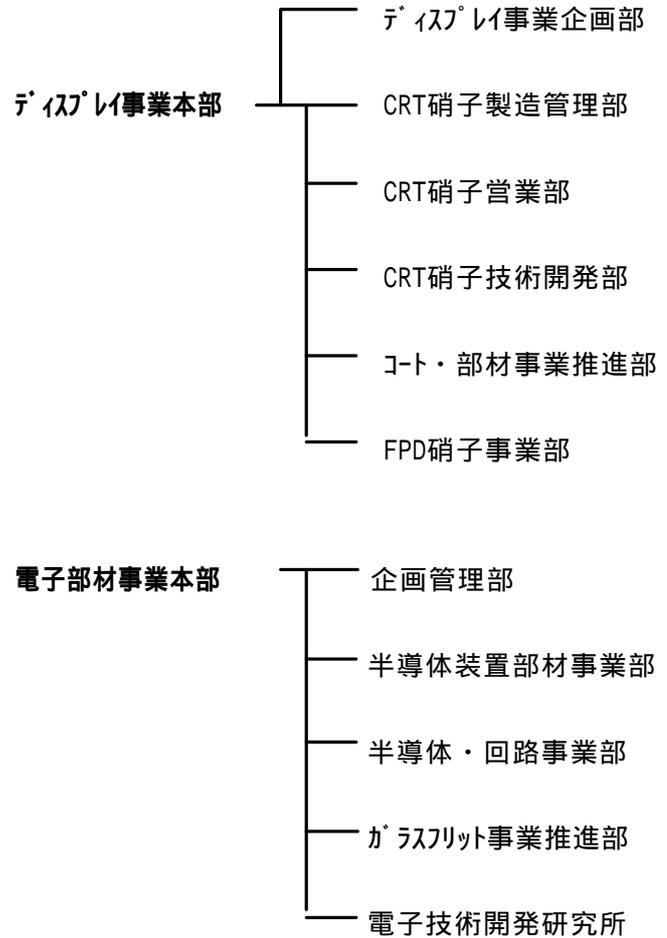
本件に関するお問い合わせ先 旭硝子株式会社 広報室 TEL: 03-3218-5408

《ご参考》

1. 従来の組織



2. 改定後の組織



3. ディスプレイ事業本部の主要取扱い製品

- ・ブラウン管用ガラス・バルブ
- ・ブラウン管用ネックチューブ
- ・ブラウン管用ピン・ボタン
- ・ブラウン管用マルチフォーム
- ・ブラウン管用コート液
- ・ディスプレイ用フリット（販売のみ）
- ・TFT用ガラス
- ・TN・STN用ガラス
- ・PDP用ガラス

4. 電子部材事業本部の主要取扱い製品

- ・SiC、溶融石英、合成石英
- ・光ピックアップ部材
- ・光通信デバイス
- ・磁気記録メディア
- ・フリット・ペーストの開発・製造・販売  
（但しディスプレイ用の販売を除く）
- ・IC、ハイブリッドIC
- ・回路基板

以上